

PRESS RELEASE



長谷工グループ

TOSHIBA

2025年10月31日

長谷工コーポレーションと東芝エレベータが新機能を共同開発 居住者向けアプリからエレベーターを呼び出せる新機能を 「WORVE 吹田江坂」で長谷工グループ初導入！ ～マンションライフをもっとスマートに、もっと快適に～

株式会社長谷工コーポレーション(本社：東京都港区、代表取締役社長：熊野 聡、以下「当社」)と、東芝エレベータ株式会社(本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：鈴木 正広)は、当社の居住者向けアプリ「まいりむ」(以下、「本アプリ」)からエレベーターを呼び出すことができる新機能(以下、「本機能」)を共同開発し、株式会社長谷工不動産(本社：東京都港区、代表取締役社長：松本 健)が事業主である「働く(WORK)」と「住まう(LIVE)」を融合させたハイブリッドマンション「WORVE 吹田江坂」(2025年10月入居開始)に長谷工グループとして初めて導入いたしました。

本機能は「まいりむ」と東芝エレベータのクラウド制御システム「ELCLOUD」を連携させることで、居住者のマンション生活を快適にすることを目的として開発しました。居住者がマンションの敷地に近づくと、本アプリを通じてエレベーターを1階(エントランス階)に予め呼び寄せておくことが可能となり、帰宅時のエレベーターの待ち時間を短縮することができます。外出時には居室内からのアプリ操作により、エレベーターを居住階に待機させておくこともでき、スムーズなフロア間移動を実現します。また本アプリでは、今後エレベーターの運行状況や点検中のステータス確認機能も検討しており、居住者の更なる利便性向上が期待されます。



アプリイメージ

IoT 機器の普及により、居住者の生活はますます便利になっている一方で、機器ごとに異なるアプリを使い分ける必要があり、ユーザーの負担が増しているという課題が浮き彫りになっております。このような背景を受け、当社は本アプリに当該機能をビルドインいたしました。これにより、居住者は住まいに関する複数のアプリを使い分ける煩わしさから解放され、ユーザビリティにも配慮した設計となりました。

更に今後の展開として、これまで取得が困難だったエレベーターの運行履歴データをタイムリーに取得できる連携方法についても共同開発を進めております。今後居住者のニーズに応えるため、これらのデータを活用し、日々の運行パターンを学習した効率的な運行制御や、混雑緩和に向けたエレベーター運行の最適化など、テクノロジーを活用した快適な住環境の提供に努めてまいります。

＜本プレスリリースに関するお問い合わせ＞

株式会社 長谷工コーポレーション コーポレートコミュニケーション部
坂田 TEL：06-6203-1501

【WORVE 吹田江坂 竣工ギャラリー】



【WORVE 吹田江坂 物件概要】

物件名	WORVE 吹田江坂（ワーブ吹田江坂）
所在地	大阪府吹田市広芝町 17-18
交通	大阪メトロ御堂筋線「江坂」駅徒歩 7 分
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上 10 階建
竣工時期	2025 年 10 月
入居予定時期	2025 年 10 月下旬
敷地面積	465.53 m ²
総戸数	51 戸
間取り	1LDK、2K
専有面積	31.28m ² ～39.00m ²
売主	株式会社長谷工不動産
公式サイト	https://www.haseko-hfd.co.jp/worve/suita-esaka/